

## 1 単元名 「なかよく ならうね 小さな ともだち」 内容（7）

## 2 単元について

児童は学校生活に慣れ、栽培活動を通して植物の変化や成長に気づき、生命の大切さを感じ始めている。また、自分の力で様々なことをやり遂げる喜びも味わいつつある。そこで、本単元では生きものの飼育を通して、その楽しさや生命の存在を感じ取らせたい。飼育活動は、毎日が発見や感動の連続である。その感動を学級で共有しながら生きもののかかわりを深められるように活動を工夫したい。飼育の過程では、新しい生命の誕生や突然の病気や死など、生命の尊さを感じる出来事に直面することもある。成長することの素晴らしさや尊さ、病気になったり死んだりしたときの悲しさやつらさ、恐ろしさは、児童の成長に必要な体験であると捉え、生きものとの関わり方を真剣に考え、その生命と向き合い、接するとともに、どんな生きものに対しても関心をもってはたらきかけようとする姿を育みたい。

本校は緑豊かな森の中に位置する学校で、登下校中やアサガオの水やり活動中などに、様々な小さな生きものに会う機会が多い。本学級の児童は、身の回りの生きものに興味津々で、捕まえてきたダンゴムシを愛おしそうに眺めている姿をよく見た。生きものに関する意識をアンケートにより調査したところ、「生きものを飼っている」と答えた児童は49%であり、昆虫や金魚などの生きものの飼育経験がある児童が多くいる一方、ダンゴムシなどの小さな生きものを触ることができない児童が30%いて、「虫＝怖い」という感覚をもつ児童も少なくないことが分かった。

生きものとなかよくなるとはどのようなことかを子供たちと考えながら学習を進めたい。生きものに興味や愛着をもち、「かわいい」「すごい」「大事にしたい」といった感情を抱いて、命ある存在として尊重する気持ちが芽生えること、生きものすみか、食べ物、動き方などの特徴を知り、季節や環境による変化に気付くこと、生きものを傷つけないように触ったり世話をしたりできるようになり、飼育や観察のしかたを工夫して、自分たちの活動を通して生きものが安心して過ごせるように工夫すること、などのような意識を共有して学習に臨みたい。すべてのことを実現しなくても、自分の納得のいく活動を夢中になって取り組みながら、生きものと本気で関わり、仲良くなれたことを実感できる子供の姿を目指したい。

本単元の活動が充実するために、児童一人一人の、生きものとなかよくなるためにやってみようとは何か、という思いや願いをはっきりと湧きあがらせたい。そのために、出会う（見つける・捕まえる・驚く・喜ぶ）、知る（観察して特徴や好みを発見する）、かかわる（餌やすみかの世話を工夫する）、広げる（友達と情報を共有・記録を残す）、別れを大切にする（感謝し、元の場所に返す）などの活動を取り入れる単元構成を工夫したい。

本校の研究主題である「自分の考えをもち、進んで表現する 子供の育成～情報活用能力を活かして探究する力を育成する指導法の工夫～」の実現に向けて、タブレットの機能を活用する学習を計画し、児童がより主体的に課題に取り組めるよう授業展開を工夫したい。これまで、「わくわくどきどきしょうがっこう」「きせつとなかよし はる・なつ」の単元で、自分の問いを軸に学習を進め、調べたことや気付いたことを工夫して伝える活動を行ってきた。1年生なりの探究的な学びの過程を経験してきたので、本単元でも、児童の思いや願いを生かしつつ、学習を進めたい。

### 3 単元の目標

動物や虫などを育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、育てている生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていきることや成長していることに気づき、生きものへの親しみをもち、大切にできるようにする。

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
○動物や虫などを育てる活動を通して、生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていきることや成長していることに気づいている。	○動物や虫などを育てる活動を通して、飼育している生きものの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○動物や虫などを育てる活動を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとしている。
<p>1 身の回りにはさまざまな生きものがあることに気づいている。</p> <p>2 生きものの成長や変化の様子を説明できる</p> <p>3 生きものに合った世話の方法を理解し、その気持ちを考えて世話を工夫できるようになったことに気づいている。</p>	<p>1 生きものがある場所を予想して、見つけようとしている。</p> <p>2 生きものと仲良しになるために取り組むことを決めている。</p> <p>3 生きものの気持ちを考えて触れ合い方を考えたり、飼育の仕方を考えている。</p> <p>4 生きものを育てたことを振り返りながら、気づいたこと、生きものへの思い、自分自身の成長を、さまざまな方法で表現している。</p>	<p>1 生きもの探しに興味をもち、友達と話し合いながら探そうとしている。</p> <p>2 興味や関心をもち、自分から進んで観察や世話を続けている。</p> <p>3 友達と協力して、生きものが安心して過ごせるよう継続して活動しようとしている。</p>

### 5 単元のルーブリック

観点		評価規準	レベル1 (S)	レベル2 (A)	レベル3 (B)
知識・技能	①	身の回りにはさまざまな生きものがあることに気づいている。	身の回りの多様な生きものに気づき、その特徴や違いを具体的に説明できる。	身の回りの生きものの存在に気づいている。	教師や友達の助けを借りながら、生きものの存在に気づいている。
	②	生きものの成長や変化の様子を説明できる	成長や変化を具体的に捉え、順序や理由を含めて説明できる。	成長や変化の様子を簡単に説明できる。	成長や変化の様子を部分的に説明しようとしている。
	③	生きものに合った世話の方法を理解し、その気持ちを考えて世話を工夫できるようになったことに気づいている。	生きものの気持ちを考えて、自分なりの工夫をしながら世話ができる。	生きものに合った世話の方法を理解し、取り組んでいる。	指示を受けながら世話をしている。

思考・判断・表現	①	生きものがある場所を予想して、見つけようとしている。	生きものがいそうな場所を根拠をもって予想し、自ら探すことができる。	生きものがいそうな場所を考えて探そうとしている。	生きもの探しを友達や教師に促されて行っている。
	②	生きものと仲良しになるために取り組むことを決めている。	生きものに近付き、親しみをもつためにできることを、自分なりに工夫して決めている。	生きものと仲良しになるためにできることを考えて決めている。	提示された方法をまねして、仲良くなる方法を決めている。
	③	生きものと仲良しになるために、生きものの気持ちを考えて触れ合い方を考えたり、飼育の仕方を考えている。	生きものと仲良しになるために、生きものの気持ちを考え、課題をもちながら、触れ合い方や飼育方法を自分で工夫している。	生きものと仲良しになるために、生きものの気持ちを考えながら触れ合いや飼育をしようとしている。	生きものの気持ちを考えるように声掛けをさせて取り組んでいる。
	④	生きものを育てたことを振り返りながら、気付いたこと、生きものへの思い、自分自身の成長を、さまざまな方法で表現している。	振り返りを通して、生きものの気付きや自分の成長を豊かに表現できる。	生きものや自分の成長について振り返り、思いを表現している。	振り返りの場で、思い出したことや感じたことを少しずつ表現している。
主体的に学習に取り組む態度	①	生きもの探しに興味をもち、友達と話し合いながら探そうとしている。	自分から意欲的に探し、友達と協力して取り組んでいる。	興味をもち、友達と一緒に探そうとしている。	声かけに応じて生きもの探しに参加している。
	②	興味や関心をもち、自分から進んで観察や世話を続けている。	強い関心をもち、主体的に観察や世話を継続できる。	興味をもち、観察や世話を続けている。	周囲の働きかけを受けながら観察や世話をしている。
	③	友達と協力して、生きものが安心して過ごせるよう継続して活動しようとしている。	友達と協力しながら、自分から役割を見つけて活動を続けている。	友達と協力して、生きものが安心できるよう活動している。	友達や教師に促されて協力しながら活動している。

## 6 指導と評価の計画（全10時間）

小単元名	主な活動内容	知	思	態	評価方法
なかよくなるうね 小さなともだち（1）	○学校で見つけた生きものたちのことを思い出し、生きものに興味をもつ。	①			行動 発言
生きもの たんけんたい（2）	○校舎内や校庭の生きものを探し、触れ合う。 ○生きものの生命を感じ取り優しく接する。 ○生きものともとなかよくなるためにどんなことをすればよいか、話し合う。		①	①	行動 発言 ワークシート
いきもの なかよし だいさくせん（4） <u>本時</u> 2/4	○生きものとなかよくなるために、自分がやってみたいことを決める。 ○自分で決めたことをやってみながら、生きものに合った触れ合い方や飼育方法を考える。	②	② ③	②	行動 発言 スプレッドシート

なにを かんじたかな (3)	○世話を通して自分が感じてきたことを振り返る。 ○伝え方や伝えたい相手を考えて、伝える練習をする。 ○自分が感じたことを報告する。 ○活動を振り返る。	③	④	③	行動 発言
----------------	--	---	---	---	-------

7 本時の目標

生きものと仲良しになるためにやってみたいことに取り組む。(思・判・表③)

8 本時のルーブリック

<b>【思考力・判断力・表現力】③</b> 生きものと仲良しになるために、生きものの気持ちを考えて触れ合い方を考えたり、飼育の仕方を考えたりしている。	
B	生きものの気持ちを考えるように声掛けをされて取り組んでいる。
A	生きものと仲良しになるために、生きものの気持ちを考えながら触れ合いや飼育をしようとしている。
S	生きものと仲良しになるために、生きものの気持ちを考えて、課題をもちながら、触れ合い方や飼育方法を自分で工夫している。

9 本時の学習展開

学習活動と発問・指示	指導上の留意点と評価 (◎)
1 本時の学習の流れを確認する。	
<b>「いきものなかよし大きくせん」 じぶんできめ大きくせんをじっこうしよう!</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のゴールを明示する。</li> <li>○生きものと仲良しになるために、新しい「はてな」を見つけた。👉👉</li> <li>○生きものと仲良しになるためにがんばった。👉</li> <li>・前時を振り返り、今日自分が取り組むことの見通しをもつ。</li> </ul> <p>2 それぞれの「大きくせん」に取り組む。</p> <p>○子供がやってみたいことの例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すみかをきれいにする。</li> <li>・えさを見つける。</li> <li>・もう一度捕まえる。</li> <li>・タブレットで写真を撮ってじっくり観察する。</li> <li>・動き方を調べる。動画を撮る。</li> <li>・観察カードをかく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のゴールイメージをはっきりさせる。</li> <li>・事前に児童が取り組むことを把握し、留意事項をまとめておく。アレルギーの有無など</li> <li>・相談したいことがあれば聞き出して解決する。</li> <li>・児童が活動しやすいように環境を整備する。</li> </ul> <p>動きやすい机の配置 飼育に必要な物品準備 生きものに関する図書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごと、相談にはすぐに応えられるようにする。</li> </ul>

